

第2編 第2章 産業と資源

⑥工業の立地と工業地域の内容

7 国際分業の深まりと新たな国際間競争 (教科書 P.148~149)

▶垂直分業と水平分業 [p.148]

①19世紀から20世紀

- ・先進国 (近代工業の確立) … [] を供給
⇨発展途上国: [] ・ [] などを供給 = [] 分業
→発展途上国… [] 経済, [] 問題

②第二次世界大戦後

- ・先進国 (アメリカ, EU, 日本など) …工業の高度化
先進国間での機械工業製品の貿易 = [] 分業の拡大

▶国際分業の変化 [p.148]

①1970年代以降: [] などの発展

→国際分業, 競争の変化

グローバル化の進展

…工程間分業 ([] 的な分業)

製品間分業 ([] 的な分業)

②1990年代以降… [] が分業再編の「台風の目」

→先進国間だけではなく, アジア NIES, ASEAN との分業も変化

▶分業の深まりの限界 [p.149]

①新興工業国

- ・先進国への依存… [], [], []
→資本や技術面での限界性
→分業の深化…アジアでは顕著⇨発展途上国全体では始まったばかり

②先進国

- ・産業の [] に対する危惧
→工業の [] 化, [] 化の促進

⇔新興工業国や発展途上国…単なる市場，生産拠点となる危険性

▶グローバル競争の激化 [p. 149]

- ・分業の深化は各国の経済諸条件（所得水準など）の変化，〔 〕企業の立地変化（最適立地，最適調達）によって多様なかたちで進む
- …先進国と新興工業国間，発展途上国間，先進国間，先進国内の地域間（開発競争の激化）
- ・〔 〕整備や〔 〕などがグローバル競争を促進